

患者様一人ひとり合う
自然な感覚で動かせる膝へ

進化

人工膝関節置換術

人工関節手術支援ロボットを導入しました

人工膝関節手術支援ロボット
Smith&Nephew社製

CORI

赤外線カメラ



モニター



3Dモデル
表示画面



ハンドピース

——— CORIに期待できること ———

オーダーメイドな人工膝関節置換術

患者様の膝の形状をCORIに読み込ませ、3Dモデルとして可視化します。これを元に患者様一人ひとりに合わせた詳細な人工関節の設置計画を立て、オーダーメイドな手術を実施。患者様に合う自然な感覚で動かせる膝の提供が期待できます。

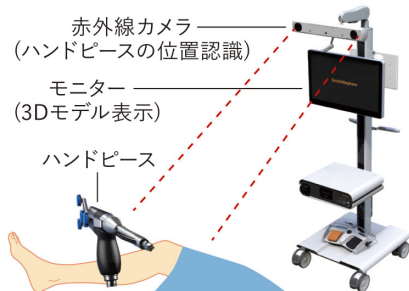
安全かつ正確な手術

手術中は、CORIのシステムが骨を切除するハンドピースの動作を制御します。赤外線カメラがハンドピースの位置を認識、医師は計画した範囲の骨のみを切除します。計画範囲外ではシステムがハンドピースを停止させるので、安全かつ正確な手術が期待できます。

生活の質向上

CORIの導入で、従来より高精度の人工膝関節手術を行えることが期待出来ます。そのため、術後の生活の質向上も期待できます。

CORIの仕組み



人工膝関節置換術・・・傷んで変形した膝関節の表面を取り除いて、人工関節に置き換える手術
※患者さまに適した手術を推奨するため、CORIが適応にならない場合がございます。

対象疾患



- 変形性膝関節症
- 大腿骨顆部壊死
- リウマチなどによる関節症

当院には、「**日本人工関節学会認定医**」がいます

日本人工関節学会認定医とは、人工関節分野において手術経験および研究業績が豊富な医師のことです。埼玉県には47名おり、朝霞地区(朝霞市・新座市・志木市・和光市)・東入間地区(富士見市・ふじみ野市・三芳町)では林院長のみです。

※2024年1月31日現在

院長 林 淳慈



『整形外科外来』へご相談ください

新座志木中央総合病院 整形外科/人工関節リウマチセンター